

子育てひろば研修セミナー

テーマ：『見えあいの子育て支援拠点をわが町にもつくろう！』

「子育てひろば 立ち上げ支援セミナー」大阪開催

1月28日と29日の2日間にわたって「子育てひろば立ち上げ支援セミナー」大阪開催が行われました。今回のセミナーでは秋田から鹿児島まで広範囲からの参加があり、2日間でのべ504名の方にご参加いただき、子育てひろばの基本的な意義と役割を学ぶとともに、4つの分科会では各テーマに即した実践事例や調査報告が行われました。



開催概要

開催日 : 平成21年1月28日(水)13:30~17:15 1月29日(木) 10:00~12:30
会場 : ドーンセンター<大阪府立女性総合センター> (大阪府大阪市中央区大手前1丁目3番49号)
参加人数 : 316名 (のべ504名 1日目 -283名 2日目 -221名)
参加者内訳: 行政74名 NPO・任意団体124名 他団体53名 その他65名
男性46名 女性270名
託児:500円/1人1日・1歳半~未就学児・定員20名

主催:財団法人こども未来財団・NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
後援:厚生労働省・(社福)全国社会福祉協議会・大阪府・大阪市・(社福)大阪府社会福祉協議会・(社福)大阪市社会福祉協議会
協力:NPO法人関西こども文化協会

開催趣旨

平成19年度より、つどいの広場事業、地域子育て支援センター事業を統合し、児童館などのスペースも活用しながら、地域子育て支援拠点事業(ひろば型、センター型、児童館型)が新たに再編されました。そこで、行政とともに地域における子育て支援拠点間の連携を図りながら、子育てひろばの意義と役割を検証します。また、ひろばスタッフ一人ひとりが日頃の活動を振り返り、見識を深め、スキルアップに寄与することを目的とします。



プログラム趣旨

地域子育て支援拠点事業の数は19年度末段階では、4,409か所となり、「子ども・子育て応援プラン」の平成21年度目標値では、6,000か所を前倒しすることが掲げられてきました。そこで、主にこれから子育てひろばの開設を検討している団体や自治体の皆さんを対象に、子育てひろばの機能や役割を確認するとともに、開設に至るまでの準備、運営課題、行政との関係づくり、ひろばスタッフのスキルアップなどについて学ぶことができる場として立ち上げ支援セミナーを開催いたしました。

プログラム1日目

開会挨拶・主催者挨拶

主催の財団法人こども未来財団の
研修事業部次長の岡林一枝さんより
開催にあたってのご挨拶がありました。



■プログラム1■

基調報告 13:45～14:30

テーマ「地域子育て支援拠点事業の概要と展望」

講師 厚生労働省少子化対策企画室長 朝川知昭さん

ひろばの立ち上げに向けては、国の方針をキャッチし現場に活かすということも
欠かせません。そのため、「持続可能な社会保障構築」に関するプログラムや
「社会保障の機能強化」などの国の最新の方針を知ることができるご報告は、大
変有意義でした。

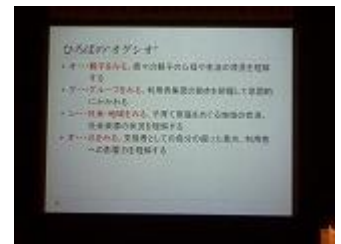


■プログラム2■

基調講演 14:30～15:30

テーマ「子育て支援拠点・ひろばの機能と活動」

講師 日本福祉大学教授 渡辺 顕一郎さん



渡辺先生の経験も踏まえつつ、「子育てひろば」の機能(はたらき)と、「子育てひろば」の活動と支援者の役割
についてお話いただきました。地域で子育てを支えるネットワークが時代とともに弱くなり、「世代を超えた子育て
経験の受け渡し」と「子育て現役世代の支えあい」の相互の組み合わせが現在ではうまくいっていないということ、
そして、それらをうまく活かすためにもひろばの存在が必要であることが講演を通してよくわかりました。

■プログラム3■

パネルディスカッション 15:45～17:15

テーマ「子育て支援拠点・ひろばの位置づけを再確認しよう」

コーディネーター 日本福祉大学教授 渡辺顕一郎さん

パネリスト

大阪市立大学教授 山縣文治さん

NPO 法人びーのびーの 奥山千鶴子さん

厚生労働省少子化対策企画室 朝川知昭さん



それぞれの立場から子育てひろばの役割と意義についてプレゼンテーションがありました。奥山さんからは、「子どもに向きあえるための切り替えの場が必要」ということ、山縣さんからは、「社会福祉事業に位置づけられること」について特に制度面からわかりやすく説明していただき、今後考える課題を提示していただきました。朝川さんからは、「質の確保」「社会的認知」という点から、社会福祉事業に位置づけられることの意義を説明していただきました。特に制度面の話については、課題や意義がディスカッションを通じてわかりやすくなりました。



山縣文治さん



奥山千鶴子さん



朝川知昭さん



渡辺顕一郎さん

■プログラム4■

<分科会1>子育てひろばの力と可能性

【コーディネーター】

NPO 法人関西こども文化協会 柳瀬 真佐子さん

【パネリスト】

NPO 法人高槻子育て支援ネットワーク 石井 智子さん

神戸大学大学院人間発達環境学研究科 HC センター 伊藤 篤さん

寝屋川市立こどもセンター 村田 哲子さん・小竹 ひとみさん

各実践事例を紹介したあとで、ディスカッションになりました。石井さんからはひろばを始める経緯を通してお母さん方の声を聞き、ひとりひとりに関われる場の重要性についてお話いただきました。伊藤さんからはカナダの先行事例を参考にしながら、現在神戸で取り組んでいること、特にドロップインとアウトリーチの両方を組み合わせることの重要性についてお話いただきました。村田さん・小竹さんからは、リラックスできる空間づくりを心がけているということや、日常の暮らしの中で保護者同士がつながっていくことの重要性についてお話いただきました。ディスカッションでは、ひろば立ち上げ初期の課題、利用者が支援者側の立場に変わる工夫、スタッフ研修についての議論になりました。



柳瀬 真佐子さん



伊藤 篤さん



村田 哲子さん



小竹 ひとみさん



石井 智子さん

<分科会2> 拠点・ひろば運営の初期の課題を語り合う

【コーディネーター】

聖和大学専任講師 橋本 真紀さん

【グループファシリテーター】

NPO 法人えんぱわめんと堺 北野 真由美さん

NPO 法人えんぱわめんと堺 長岡 幸子さん

NPO 法人えんぱわめんと堺 大林 慎代さん

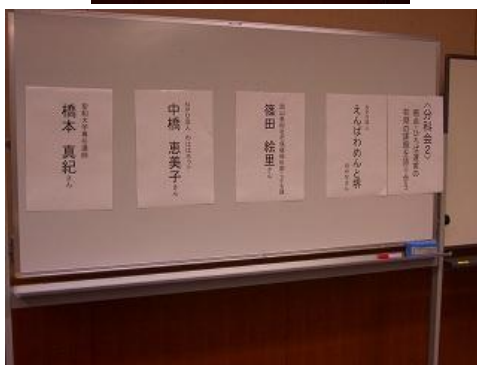
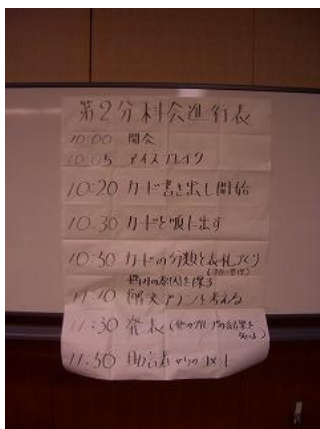
NPO 法人えんぱわめんと堺 泉 直美さん

NPO 法人えんぱわめんと堺 橋本 麻美さん

岡山県総社市保健福祉部こども課 篠田 絵里さん

NPO 法人わははネット 中橋 恵美子さん

えんぱわめんと堺のみなさんを中心に、7グループ、7人のファシリテーターによってグループごとに「スタッフの育成課題について」と、「ひろばの運営課題」について考えるところからワークショップ形式で進められました。グループファシリテーターの中橋さんからは、グループを担当するのではなく各グループで話し合われている内容で重要な項目を整理していただきました。「自分たちの活動をしっかりわかっていないと、ネットワークづくりや、メッセージを伝えていくことができない。乳幼児期からしっかり、もっと目を向けてもらえるよう」「スタッフの人間関係」「居心地のよい居場所とは、温度差の中でスタッフの多様性を認める、どんな力を持っているかを相互理解する」といったことが話題として挙げられました。そして、「今回話し合ったことを自分達の持ち場へもって帰り、考えていくことが課題」というように、これから活動しながら考えていくための素材が共有されました。



<分科会3>ひろば運営の実際～課題と展望～

【コーディネーター】

NPO 法人やまがた育児サークルランド 野口 比呂美さん

【パネリスト】

奈良女子大学博士研究員 大谷 由紀子さん

NPO 法人三島子ども文化ステーション 堀越 小百合さん

2名のパネリスト方からのひろばの運営調査の報告と、事例報告がありました。

大谷さんからは、居場所づくりの広がりや地域差に注目して実施された調査データを踏まえながら、行政直営・民間運営、センター型・ひろば型それぞれの運営課題と展望についての発表がありました。

どのような運営体制や活動内容を持つひろばが多いのかがわかりやすく報告されました。調査から見えてきた多くの広場の共通点は、「ひろばを実施する前からある程度基盤となる組織があった」「運営主体は自治体直営型が多い」などでした。

一方で課題・問題点は「スタッフ研修の機会が少ない」「運営費が少ない」「部屋が狭い」「安全面の不安」「地域のニーズに応えられない」などでした。

また、堀越さんからは、「仲間と集う、他人と共有する力が弱くなっている」「親支援が大切」と現在の親の様子を率直に語っていただき、「人材・空間・資金」がひろば運営には欠かせないことも確認していただきました。

ディスカッションでは、「つどいの広場のスタッフに必要な資格は？」「一時保育の場合の条件は？」などの具体的な事業に関わる質問や、実施場所、特に商店街で実施する際の課題についての質問がありました。



＜分科会4＞民間団体と行政のよりよい協働関係作りをめざして

【コーディネーター】

NPO 法人びーのびーの 奥山 千鶴子さん

【事例報告】

飯田市子育て支援課 高山 毅さん

NPO 法人子育てネットみちくさ 森山 昌子さん

堺市中央子育て支援センター 小仲 久子さん

NPO 法人ワークレッシュ 和久 貴子さん

行政、民間それぞれの立場から事例報告がなされ、民間団体の自立性を生かした行政とのよりよい協働関係作りの初期課題について考えました。

行政、民間それぞれの立場から事例報告がありました。「ひろばを虐待防止として活用」「行政（保育士）が、ひろばをまわって交流し、各ひろばと連携をとっている」「保護者の話に耳を傾けることが大事」「スタッフ間での情報の共有が大切」「行政のしぼりの中で、いかに色んなことに取り組むことができるのかを工夫する」といったことが挙げられました。

また具体的な課題とそれに対する提案も整理されました。「保育所待機児童解消と子育て支援をドッキング」「区ごとにネットワークをつくっている、広げていくこと」「個別家庭への支援、きめこまやかなサービスとコーディネート」「評価システムを作る」などといった地域の課題とそれに対する提案も参加者で共有し学ぶことができました。最後に、奥山さんから「協働のためには対等性が大事。お互い智恵と工夫を出し合いましょう」とまとめていただきました。



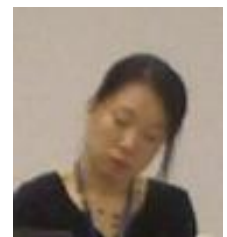
高山 毅さん



森山 昌子さん



小仲 久子さん



和久 貴子さん

■プログラム5■

全体会(分科会の報告) 12:00~12:30

【コーディネーター】

NPO 法人 Chacha-House 安孫子 浩子さん

【報告者】

分科会1 NPO 法人関西子ども文化協会 柳瀬 真佐子さん

分科会2 聖和大学専任講師 橋本 真紀さん

分科会3 NPO 法人やまがた育児サークルランド 野口 比呂美さん

分科会4 NPO 法人びーのびーの 奥山 千鶴子さん



本セミナーのまとめとして、各分科会のコーディネーターからそれぞれの会の報告があり、情報を共有しました。2日間にわたり、のべ500名を超える方にご参加いただき、行政・民間団体の壁をこえて様々な意見交換がなされました。今回のセミナーの成果を現場に持ちかえられ、子育てひろばの実践に役立て活動を発展させていただきたいと思います。



安孫子 浩子さん



柳瀬 真佐子さん



橋本 真紀さん



奥山 千鶴子さん



野口 比呂美さん

■オプションプログラム■

ひろば視察会

実際にひろばを見学し、各ひろばのスタッフから話を聞く会を設けました。受け入れをしてくださった各ひろばの皆様ご協力ありがとうございました。

番号	ひろば名	日時 (現地集合時間)	定員	ひろばへのアクセス/ 会場からひろばまでの所要時間
センター型				
①	社会福祉法人 大阪水上隣保館 「子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた」	29日(木)14:15 (長尾駅集合時間)	15名	JR「大阪城北詰駅」→JR「長尾駅」から送迎バスあり／約40分(長尾駅まで)
②	寝屋川市立こどもセンター	29日(木)14:30	10名	京阪「寝屋川市駅」徒歩6分／約40分
ひろば型				
③	NPO 法人三島子ども文化ステーション 「子育てカフェどうぞのおいす」	29日(木)14:30	5名	JR「高槻駅」徒歩7分／約45分
④	NPO 法人子育てネット みちくさ 「中まちかど子育てサポートルーム」	29日(木)14:30	20名	泉北高速道路「深井駅」徒歩20分／約60分
⑤	NPO 法人ハートフレンド 「ハート広場」	29日(木)14:00	10名	近鉄「北田辺駅」徒歩7分、 JR美章園駅から7分 / 約40分
⑥	NPO 法人こどもNPOセンターいずみっ子 「いずみ・エンゼルハウス・府中」	29日(木)14:30	5名	JR「和泉府中駅」徒歩3分／約50分